

細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

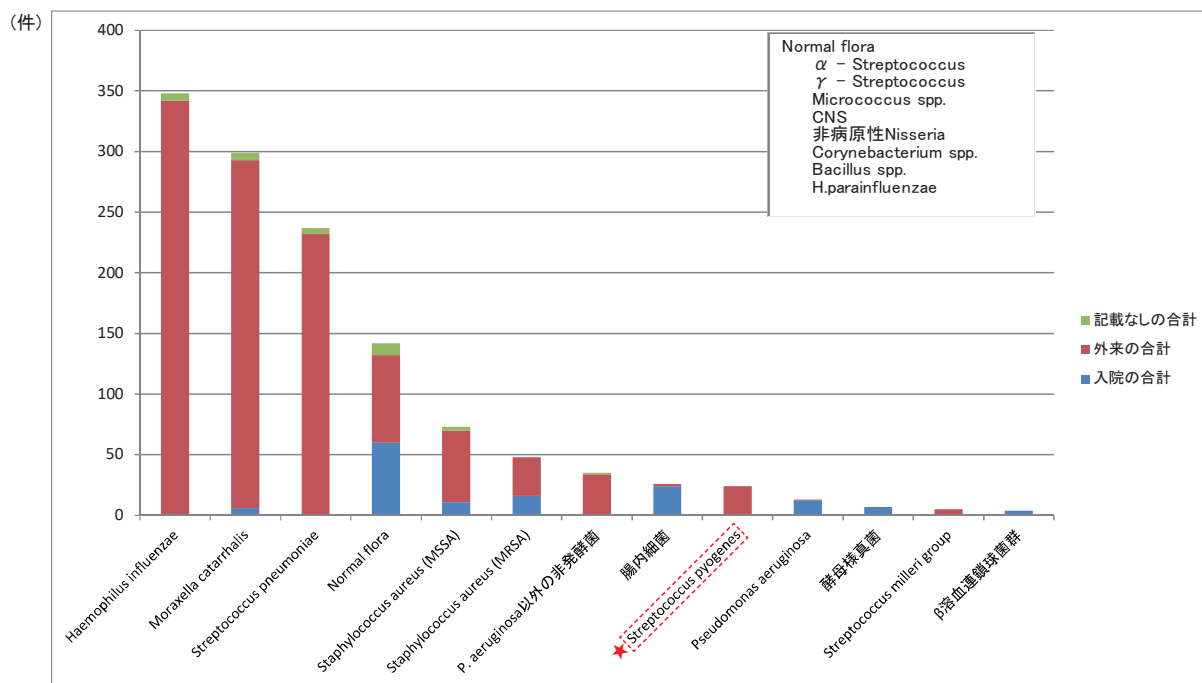


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃の細菌検出状況の中で *Streptococcus pyogenes* についてと *Streptococcus pneumoniae* の細菌薬剤感受性情報を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃】細菌検出状況 2019年02月



Streptococcus pyogenes は、ヒトの上気道に常在する連鎖状のグラム陽性球菌です。化膿性疾患を引き起こす代表的な菌種であり、扁桃炎、咽頭炎、猩紅熱、軟部組織感染症、壊死性筋膜炎、菌血症などを起こします。また、感染症法5類感染症の全数報告対象である劇症型溶血性レンサ球菌感染症の原因菌でもあります。

【細菌薬剤感受性情報】

2019年 2月分

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
ペニシリン系	PCG	ペニシリン	93	7	0
	AMPC	サワシリン	98	1	0
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CEZ	セファメジン	20	0	80
	CTM	ハンスホリン	20	40	40
	CTRX	ロセフィン	98	0	1
	CZOP	ファーストシ	80	0	20
	CFPM	マキシピーム	80	20	0
	CPDX	バナ	80	14	6
セフェム系経口薬	CFDN	セフゾン	73	7	20
	CFPN	フロモックス	93	2	4
	CDTR	メイアクト	96	3	1
	CFTM	トミロン	94	2	5
	IPM	チエナム	80	13	7
カルバペネム系	PAPM	カルベニン	100	0	0
	MEPM	メロペン	60	20	20
	TBPM	オラベネム	100	0	0
	FRPM	ファロム	100	0	0
その他β-ラクタム系	ACV	オーグメンチン	99	0	0
	STC	ユナシン	87	12	2
	CAM	クラリス	27	16	57
マクロライド系	AZM	ジスロマック	17	8	74
	CLDM	ダラシン	80	0	20
	VCM	バンコマイシン	100	0	0
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	98	0	2
	TFLX	オゼックス	99	0	1
	GRNX	ジェニナック	100	0	0

マクロライド系薬のCAM、AZMは耐性を示す株が多くなっています。合成抗菌薬のLVFX、TFLX、GRNXは良好な感受性率となっています。

*Streptococcus pneumoniae*は、上気道常在菌の一つであり、市中肺炎などの原因菌です。当検査センターでも咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃の呼吸器材料から多く検出され、外来からの検出が大部分を占めています。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況についての情報をご覧いただけます。

<http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>
検査科微生物係